

平成27年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表1

重点課題	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策	
	重点目標 全校レベル	評価指標と活動計画 評価指標	評価 評価指標による達成度			
生徒の視点に立った「わかる授業」と家庭学習の充実	1 学習指導の充実 ・生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習する習慣の定着を図る。 ・基礎・基本の確実な定着と応用力の育成及び個性を生かす教育の充実を図る。	[教務課] 1) 生徒の進路希望に沿った選択科目を可能な限り開講。 [進学課] 1) 毎月、学習時間調査を行い、年間平均を1・2年生ともに2時間以上。 2) 英教国を中心に、「日々のプリント」において強化週間を設ける。 3) 模試分析会を年間3回以上実施。 4) 早朝補習を年間100回以上実施。出席率95%。 [学年] 1) 早朝補習への出席率90%以上。 2) 「日々のプリント」により、基礎・基本力を定着させる。自主学習時間を確保。	[教務課] 可能な限り展開した。生徒・保護者および教職員の評価A。 [進学課] 1) 学習時間年間平均 1年生・・・2.7時間 2年生・・・1.8時間 2) 強化週間を設けることはできなかった。 3) 1. 2年生・・・4回 3年生・・・15回 4) 早朝補習97回実施 出席率 1年生・・・96.3% 2年生・・・94.3% [学年] 1) 早朝補習に欠席の多い生徒には、家庭連絡や三者面談で出席を喚起した。 2) 定期考査日程発表の日から考査終了までを除きほぼ毎日出席した。基礎・基本力の定着を図った。	[教務課] 評価A 可能な限り開講できた。 [進学課] 評価B 1年生の家庭学習時間が増加。2年生は昨年同様。土曜日補習に、1年(延べ530人)2年(延べ470人)が参加。 [学力向上委員会] 評価A 公開授業は必要性を感じる一方、期間の延長を求める意見も。 [学年] 評価B 早朝補習出席率アップ。なぜ成るノートは生徒アンケートで評価が低かった。	1年生で、文理の選択をしなければならないので、負担が大きいのではないが。	[教務課] 生徒の希望に沿った展開、授業変更が容易な時間割編成が課題。 [進学課] 家庭学習習慣を確かなものとし、自発的に学習する能力を身につけることが必要。計画的に学習に取り組み、授業→補習→定期考査→一斉テスト→模試→入試へとつなげることが課題である。 [学力向上委員会] 公開授業の期間延長に加えて学力定着を促す授業の在り方や取組を、学年・教科を越えた枠組みで検討したい。 [学年] 早朝補習の内容の充実には常に考えていかないと行けない。 なぜ成るノートは、生徒の学習状況の把握だけでなく、生活習慣の指導にも役立つことを理解させていきたい。
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況			
	[進学課] 1) 学習習慣の定着 2) 学力定着度の分析 3) 補習の充実 [学力向上委員会] 1) 授業力の向上 [学年] 1) 自主学習時間を確保する。 ① 予習→授業→復習のサイクルを習慣化し、学習内容の定着を計る。	[進学課] 1) 「学習の日」を設け、学習習慣を身につけさせる。 2) 成績分析会で情報を共有し、教科会学力向上のための具体的方策を検討する。 3) 欠席者への連絡を継続的に行う。 [学力向上委員会] 1) 公開授業を実施し、年間平均4回以上見学する。 2) 教科会を年間3回以上行う。 [学年] 1) 「なぜ成るノート」で確認し、一人ひとりに徹底させる。	[進学課] 1) 9回実施 2) 7・8・12・3月の職員会議で資料提示、分析会を実施。業者の学習調査報告会を1・2年生担任に実施。 3) 学年主任・担任を通して保護者へ連絡。 [学力向上委員会] 1) 2回の公開授業期間、研究授業参加等による見学研修が、平均3.3回。期間外を含めると平均4回。 2) 平均3回以上実施。 [学年] 1) ノート確認はほぼ毎日実施できた。			

平成27年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表2

重点課題	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策	
	重点目標 全校レベル	評価指標と活動計画 評価指標	評価 評価指標による達成度			
生徒個々の進路希望を実現するための情報提供及びキャリア教育の推進	2 進路指導の充実 ・進路への興味関心を喚起し、将来を見据えた望ましい職業観・労働観を養う。 ・生徒の多様な能力、適性、進路希望に応じた、系統的・組織的な進路指導に取り組む。	[進学課] 1) 大学等による出前授業及び大学での公開授業を実施。校外での進路相談会に積極的に参加。 2) 進路・小論文・志望理由書などの講演会を5回以上実施する。 3) 卒業生(教育実習生)による進路講演会の実施。 4) 「進路だより」を20回以上発行する。 [就職課] 1) 公務員説明会及び自衛官説明会を各1回以上実施する。 2) 2年生に本校主催インターシップを実施し、20人以上参加させる。 3) キャリア教育を推進させるための研修会を1回以上実施する。	[進学課] 1) 出前授業24講座実施(8月)1. 2年生 業者主催の進路説明会(6月)に3年生全員参加。 2) 1年生・・・6回 2年生・・・6回 3年生・・・2回 3) 各クラス単位で実施。 4) 「進路だより」22回発行 進路情報誌・・・20冊以上配布 [就職課] 1) 各説明会を予定通り実施。 2) 7月末から8月中に実施。2年生41名が参加。 3) 支援講演会を2年対象に実施。	[進学課] 評価B 総体後、3年生全員で説明会に参加し、切り替えとモチベーションを上げることができた。 徳島大学改組のため授業が実施できなかった。 [就職課] 評価B 公務員及び自衛官の説明会は希望生徒に意識を持たすことができた。インターシップ希望者も増え、職業に対する興味を持たすことができた。1年生で講演会ができなかった。	選択科目や大学や職業の関連について、生徒が何のどのような情報を欲しがっているのか、アンケートを取ってみたことがあるか、なければ取ってみるのがよいのではないが。	[進学課] 出前授業を更に充実させる。大学や進路説明会に足を運び、学習へのモチベーションを上げ、維持させる。 [就職課] 職業観を持たすために、インターシップの充実や学年と連携を図り、キャリア教育を充実させる。
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況			
	[進学課] 1) 大学等による出前授業の充実 2) 進路選択に関する情報提供の充実 [就職課] 1) 情報源として説明会に加えてインターネットを活用。 2) キャリア教育推進ため校外体験を推進する。	[進学課] 1) ニーズを把握し多くの講座を設ける。 2) 外部講師のアドバイスを受け日々の学習に生かす。 3) 保護者に情報を適宜発信する。 [就職課] 1) 6月に公務員説明会、7月に自衛官説明会を実施する。ハローワークの情報を最大限に利用する。 2) 夏休みに本校主催のインターシップを実施する。希望する職種に合う事業所を開拓する。 3) キャリア教育推進研修会を実施する。	[進学課] 1) アンケートで、ニーズに応じた講座を実施。 2) 学習意欲向上に繋がる講演を実施。小論文や志望理由書の講演を実施。 3) 適宜配布できた。 [就職課] 1) 公務員説明会は6月、自衛官説明会は7月に実施。 2) 7月末から8月実施。県内事業所13か所に2年生が参加。 3) 講演会を2年対象に実施。新聞の読み方について講座を開催した。			